



近代日本の産業革命の地 **北九州市・東田 Super City for SDGs 構想**

「世界の環境首都づくり」を礎とし、デジタル技術を駆使することで、
環境・経済・社会の好循環によるSDGsの加速化、脱炭素社会の実現を目指す



SDGs未来都市・北九州市

目 次

- I スーパーシティ応募区域「東田地区」の概要**
- II 北九州市がスーパーシティ構想に取り組む意義**
- III 北九州市・東田の「あゆみ」と「地域資源」**
- IV スーパーシティ構想の推進体制**
- V スーパーシティ構想の取組**
 - 1. 先端的サービス**
 - 2. 先端技術実証・実装フィールド**

I スーパーシティ応募区域「東田地区」の概要

スーパーシティ応募区域「東田地区」

【東田地区の概要】

日本製鉄(株)工場跡地を、持続可能なまちづくりを目指して開発

○住所：北九州市八幡東区東田1～5丁目 ○面積：約120ha

○居住人口：約1,600人(2021年3月末時点)

○観光客数：約71万人(2019年次 北九州市観光動態調査)

○年間来街者数：約1,000万人



- メディアパーク
北九州e-PORTの拠点として、データセンター、コワーキングをはじめとするICT系業務施設、医療施設、商業施設等が複合集積。
 - タウンセンター
幅員100mのシンボル空間、東田大通り中心に大型商業施設が集積。
 - ミュージックパーク
市SHINE博物館構想の下、学習・遊び・環境の拠点を一体的に整備。
 - アーバンレジデンス
多世代混住と環境共生を目指した住宅街区。
 - ベイフロントパーク
洞海湾に面した立地を生かし、親水緑地や交流・レジャー施設、天然温泉施設、結婚式場などを整備。
- ※THE OUTLETS ((仮称)八幡東田プロジェクト) が2022年春オープン予定
(出所：日鉄興和不動産HPから抜粋・一部加筆)

Ⅱ 北九州市がスーパーシティ構想に取り組む意義

北九州市・東田 Super City for SDGs 構想の基本方針

北九州市・東田 Super City for SDGs 構想 基本方針

環境

「グリーン成長都市」

環境と経済の好循環による脱炭素社会を目指すまち



経済

「規制改革・先端技術の実証・実装フィールド」

地域課題の解決や、新たな先端ビジネスが生まれ育つまち



社会

「ダイバーシティの実現」

あらゆる世代や障害のある方など、みんなが活躍できるまち



市民が主役の「産・学・官・民」のパートナーシップ



東田地区で先行実現
【規制改革】 【先端的サービス】



スーパーシティ構想の
取組を市内全域へ波及



【北九州市内全域】

国家戦略特区制度を最大限活用

- 規制改革特例制度
- 規制のサンドボックス制度
- 北九州高度産業技術実証
ワンストップサポートセンター
など

北九州市全域で実現
【規制改革】
【先端的サービス】